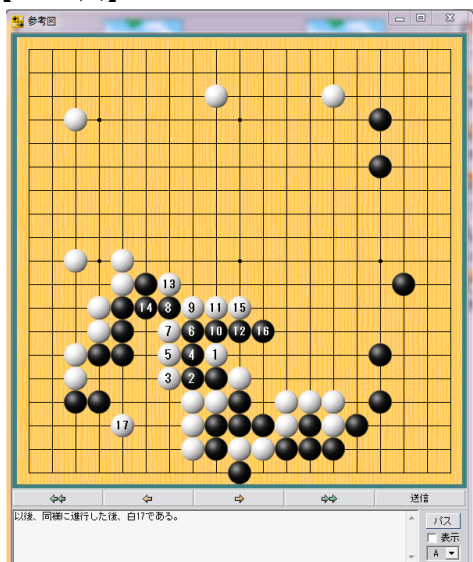


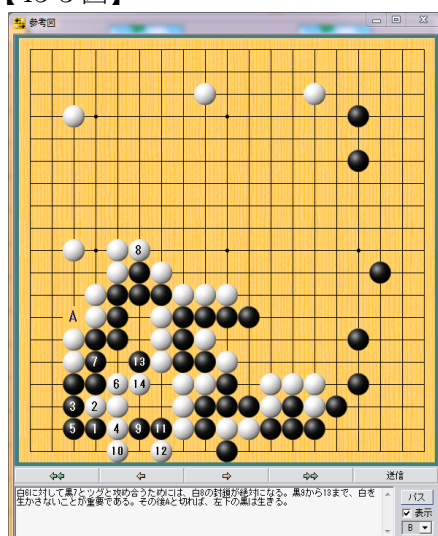
43. 下辺左側の白を生かさない対応（その後の検討—続編 3）

【45-2 図】（再掲）の後、【45-3 図】（再掲）のように進行すると、白 8 では、13 のところに先着し、左下で白が生きる可能性があった。そこで、黒 7 で 13 に先着し、ツケノビを出切らせて、白の包囲を破壊する手段を経験したので、追記する。

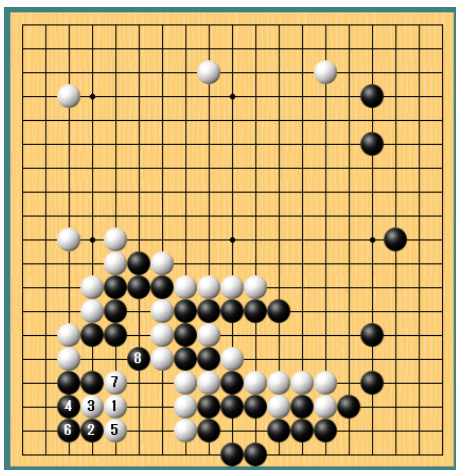
【45-2 図】



【45-3 図】

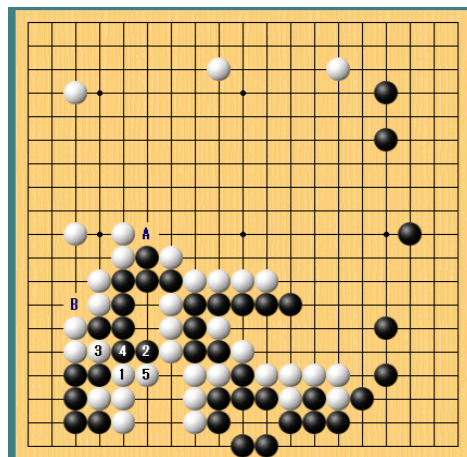


【85-1 図】（実戦）



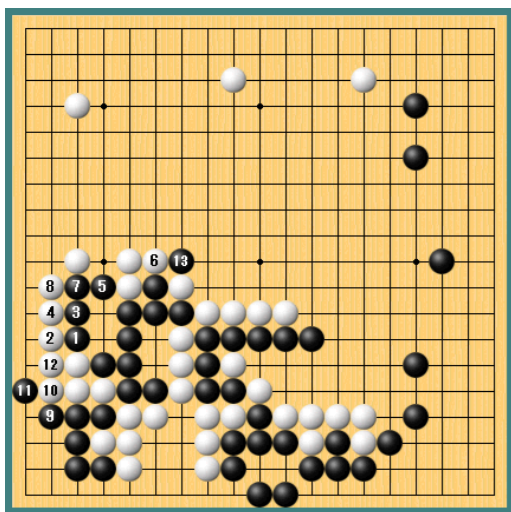
【85-1 図】（実戦）白 7 まで、中央で白が 1 つ多く押していることを除けば、45-3 図と同じである。ここで黒 8 と、左下の白の眼を奪った。この位置は 84-1 図の A で、白を生かさないために必須である。

【85-2 図】（実戦）



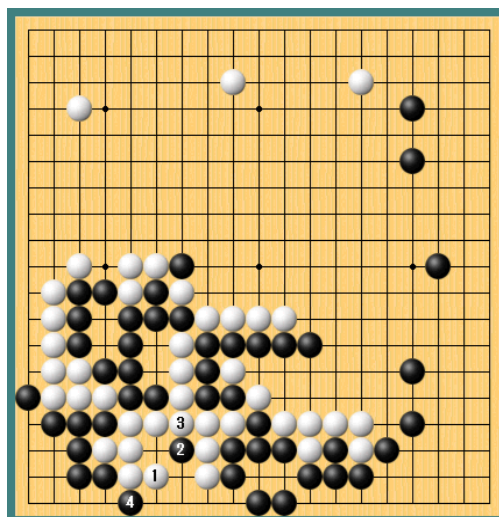
【85-2 図】（実戦）白 1 に対して、黒 2 と眼を奪うと、白 3 とツケノビを出切られる。黒は A と B の選択肢があるが、隅の問題もあるので、黒 B がよさそうである。

【85-3 図】（実戦）



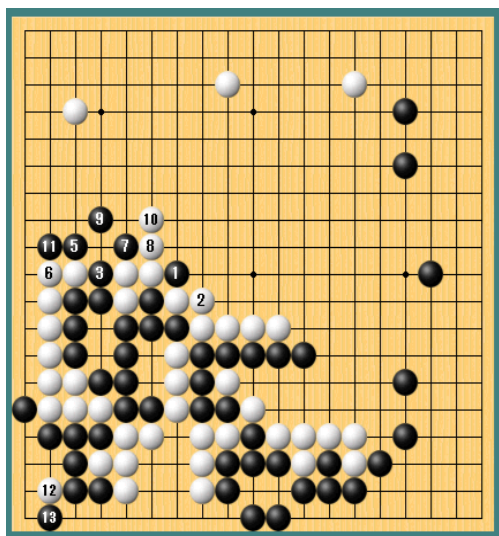
【85-3 図】（実戦）黒 1 と切ると、白は隅の黒との攻め合いがあるので、4 線の 2 子を捨ててくる。黒 9, 11 をきかせて、左下隅はほぼ安心できるので、黒 13 から白の包囲網の破壊作戦である。

【85-4 図】



【85-4 図】 なお、左下は白 1 としても、これまでの検討のように、黒 2 以下で 2 眼はできない。

【85-5 図】（実戦）



【85-5 図】 黒 1 から、1 子を抜いて包囲網を突破した後、黒 11 と左辺の白を捕らえ、白 12 に黒 13 と生きて、Trend002 君が投了した。100 手で、最小手数勝利に近い。このように、黒 1 が重要になるので、中央下側の黒が逃げる際に、黒 1 の 1 路下の白 1 子を極力アタリにしない方がよいことが分かる。また、この図のような手段があるため、45-2 図の白 1（17 図の白 1）は悪手であると結論できる。